

宮崎県で口蹄疫が発生しています。

口蹄疫は、牛、豚、羊などの動物の病気で、非常に感染力が強く、拡大すると畜産業に大きな影響がでます。
現在、畜産関係者が全力で拡大防止の取り組みを行っています。

町の取り組み

■山都町家畜伝染病防疫対策会議を設置し、上益城地域振興局・熊本県中央家畜保健衛生所との連携により、各畜産農家へ防疫対策及び資金支援の周知、消毒ポイントへの作業支援を行っています。

■5月21日〜25日にかけて対象畜産農家へ消毒剤として消石灰と踏み込み槽を無償配布しました。さらに、6月16日・17日の2日間、消石灰の追加配布を行いました。畜産農家の方々へ口蹄疫に対する防疫の徹底をお願いしています。(熊本県から消石灰を1軒に1袋助成されています。)今後、感染拡大長期化への対策として消毒薬の確保を予定しています。

※現在、町関係施設で施設進入路への消石灰散布、施設玄関での消毒マットの設置を進めており、来庁者の方々への口蹄疫防疫対策へのご協力をお願いします。

※町内で愛玩動物(ペット)としてミニニブタ・イノシシ・ヤギ等の偶蹄類の動物を飼養されている方は、農林振興課・各支所産業振興課へご連絡ください。

34人の努力の結晶

馬見原小が特別賞受賞
日専連・全国児童版画

コンクール

日専連が主催する第19回全国児童版画コンクールで、馬見原小学校4・5・6年生(当時)34名が共同で製作した「みんなでどった、ソーラン節」が特別賞を受賞。制作に2ヶ月半を要した縦90cm×横182cmもの大型版画で、運動会での一瞬を切り取った作品が素晴らしい評価を受けました。このコンクールでは、馬見原小6年有働亮くん、同じく3年高野千沙都さんも銀賞を受賞しています。

これに先だつて行われた日専連熊本主催のくまもと児童版画コンクールでは、馬見原小6年有働亮くんと4年渡邊龍樹くんの2人が特別賞に輝いています。



みんなでおどった、ソーラン節

町長室から

甲斐 利幸

水無月、6月も末、雨も多く、黄砂現象で霞んでいた山並みの緑が、鮮烈に、間近に眼に映ります。

慌ただしい日常ながらも、田の水と早苗の揺れに、気持ち共振り、和みを覚えます。

山間に生活してこそ、触れることのできる自然の移ろい

です。菅内閣が誕生しました。短命内閣が続く日本の国政ですが、あらためて国のありようについて、「世界の中の日本はどうあるべきか」自問自答しています。

経済成長も鈍化し、少子化は将来の日本の元気に暗雲の影を落とすつつある時、菅総理大臣は国の舵取りに、矜持をもって毅然として頑張つてほしいものです。

選挙のためのマニフェストも、危機に瀕している財政事情から、今一度国民に理解を求めて、錢で国民の機嫌を取る手法の無節操さに気づいて、見直しをするべきと考えます。

口蹄疫の蔓延は、終息どころか、更に勢いをつけるのではな

いかと危惧しています。

町では、県と連携して、蘇陽の滝上と塩原で関係車両の消毒を行っています。ウイルスの感染力には、驚異的なものがあるようです。

畜産農家の心配を思うと胸が塞がります。侵入してくるウイルスに対し、各畜産農家で自己防衛のうえから、畜舎等の徹底的な消毒も効果的ではないかと考えています。

国の法律による救済に期待しながらも、町としても消毒剤の配布に続く、畜産農家の支援を考えています。

町の有機農業連絡協議会が、その活動に対し農林水産大臣から表彰され、図書館ボランティア活動グループであるピエロの会が文部科学大臣表彰を受けました。山都町の地味な底力が高く評価されました。牛歩の歩みながらも、山都町は確実に未来への礎を築いています。

新幹線は来年3月、熊本を走ります。山都町単独でも新幹線に対するアクションプランを準備しています。

拡散防止にご協力を!

口蹄疫を防ぐため、県内、町内の畜産農家の方々は、飼養管理、衛生管理を徹底され、口蹄疫ウイルスの侵入を防ぐための対策を講じています。

拡大防止には関係者以外の皆さんのご理解とご協力も必要です。みんなで地域の畜産を守りましょう。

■関係者以外の畜舎・農場への不要な立入は控えましょう。

■県内の国道、県道、市町村道に設置してある消毒ポイントでのご協力をお願いします。

(町内では、国道218号(滝上地区)、国道265号(塩原地区)での一般車及び畜産関係車の消毒ポイントが設置してあります。)

■牛や豚、羊ややぎに接触する場合には、その前後に消毒してください。

※感染した動物の肉が市場に出回ることはありません。仮に食べたとしても、人に感染することはありません。



国道218号(滝上)の消毒ポイント

【問い合わせ】

農林振興課 (72-11136)
清和総合支所産業振興課 (82-2111)
蘇陽総合支所産業振興課 (83-1111)